

**平成24年度（通期）  
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：

生涯学習 部 社会教育 課

**1. 基本情報**

1301

施設名	伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進し、あわせて市民の教養、文化の発展と健康の増進を図る。		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	利用者人数 (単位： 人 )	
	指標の意味	講座・イベント+貸館+フィットネスの利用者のべ人数	
	今年度の目標値	192,000	今年度の実績値 191,053

**2. 利用状況**

利用状況等の推移		H17※	H20	H21	H22	H23	H24 (上期)	H24 (通期)
	来館者数 (人)		337,586	363,822	388,244	383,659	390,441	208,891
貸し室稼働率 (%)		39	43	44	46	46	45	46
講座開催回数(回)		630	806	937	917	973	448	944
講座参加者数(人)		18,879	35,967	42,692	42,282	45,302	19,374	43,766

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

**3. 管理経費等**

平成24年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	106,861	指定管理委託料	106,861
	事業収入(講座料収入等)	73,912	事業収入(講座料収入等)	68,844
	その他	283	その他	250
	合計	181,056	合計	175,955
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	30,895	人件費	31,575
	維持管理経費	45,897	維持管理経費	44,996
	事業等経費	15,366	事業等経費	14,352
	その他	88,898	その他	83,921
	合計	181,056	合計	174,844
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	1,111

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H20	H21	H22	H23	H24	H25
	市の収入		60,983	2,055	2,078	2,071	2,048
(内、使用料収入)		58,939	0	0	0	0	-
市の支出		177,319	113,363	108,789	108,922	107,897	-
(内、指定管理委託料)		177,319	110,083	108,147	107,905	106,861	-
実質経費（歳出－歳入）		116,336	111,308	106,711	106,851	105,849	-

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課意見	
管理 体制等 に関する 事項	維持管理業務 の実施状況	館内の清掃を定期的 に実施し、常に清潔 に保たれているか。	A	老朽化した施設・設 備の維持管理につい て、利用者の利便性 と費用対効果のバラ ンスをはかりなが ら、臨機応変に対 応している。	A	協定書・仕様書に基 づき、適切な管理業 務を行い、利用者の 意見を反映した運営 を行っている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置など の実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	施設管理および事業運営に関して、必要な経験と実績を積んだスタッフを配置。適時、技能研修も行なっている。	A	施設の設置目的を達成するため、事業・運営に必要な研修や人員配置を行っている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		A	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	消防訓練を実施（7月・12月）	B	防犯・防災に速やかに対応できる体制を整えている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等 に関する 項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	アンコール講座等による既存ニーズへの対応と、常に新しいニーズの創出を目的とした講座やプログラムの提供に努めている。	B	講座や窓口での利用者の声を反映した事業展開や、利用者の要望に適切に対応している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A		A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	学びから自己実現へ繋がる市民参画サポートに取り組んでいる。	A	利用者ニーズを取り入れた講座や、協働事業を推進している。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書や個人情報について、適切かつ厳重な管理を行っている。	B	伊丹市情報公開条例等を遵守した、適切な情報管理を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収入確保と支出の抑制に努め、収支全体の中で対応している。	B	フィットネの会員拡充を図る必要がある。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			
施設所管課総評	複合施設ならではの管理運営を適切にこなしながら、伊丹市の総合計画を踏まえた市民参画協働事業の展開を行っている。また、利用者ニーズや現代的課題にも積極的に事業に組み込み利用者満足度も高い。フィットネス事業においては登録者増のための対策を講じているが、利用料金が計画を下回っている。しかしながら、ホール全体の収支のバランスを踏まえた効率的な運営を行っている。					

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。「-」＝当該項目での評価対象外。

#### ☆利用者満足度調査(アンケート)結果の概要

実施の有無	【アンケート実施時期】平成24年3月初旬～3月末日 【回答者数】66
有り	主な回答内容 「施設内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。」の質問に対し98%が「はい」と回答。 「ラスタホール窓口の職員の接客態度はいかがですか。」の質問に対し95%が「たいへん良い」、「良い」と回答。 「施設を利用した際の全般的な満足度を以下から選んで下さい。」の質問に対し、94%が「たいへん満足」、「満足」と回答。

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
フィットネスの会員増に向けた方策を講じること	会員増を目的とした新しいサービスプログラムを展開します。(マラソンプールに対応したナイトラン講習、シニア層をターゲットにしたノルディックウォーキング、会員相互交流を促進するニュースポーツイベントなど)